

令和2年度 学校経営計画及び学校評価

1 めざす学校像

すべての人に包摂的且つ公正で質の高い教育を行う学校



- 1 安全安心な環境の中で、子どもたちがよりよく生きる意欲（自己肯定感）を育む場となる
- 2 保護者が安心して子どもの教育を委ねることができる場となる
- 3 障がい理解推進校として、地域の支援教育の中心的役割を担う場となる
- 4 個々のニーズと障がい特性に応じた社会的自立に向けて、小中高と一本筋の通ったキャリア教育の場となる
- 5 教育公務員としての高い倫理観と障がい特性に合わせた柔軟な指導力とチーム力を養う場となる

2 中期的目標

- 1 安全安心な環境の中で、子どもたちがよりよく生きる意欲（自己肯定感）を育む場となる
 - (1) 子どもたちの人権を守る学校組織の強化
 - (2) LS（校内CO.としての役割）の経験知とネットワーク力を活かした校内支援体制の充実
 - (3) 高い人権意識を基礎にした自他を認め合う人間関係の構築
 - (4) 自立活動領域及びICTを活用した教育支援力の向上
 - (5) 教材の計画的な購入とスムーズな納入のためのシステムの構築
- 2 保護者が安心して子どもの教育を委ねることができる場となる
 - (1) 安全で安心な医療的ケア・救急搬送を伴うような体調急変時等の緊急時対応・食物アレルギー対応の実施体制とマニュアル整備・順守
 - (2) 校内体制の実情に合わせた訪問教育体制とマニュアル整備・充実
 - (3) 個人情報の適切な管理とシステム整理
 - (4) 教職員・PTA・地域と共同した防災（減災）・防犯体制の拡充
 - (5) 学校HPの活用による本校の教育活動等の積極的な発信
- 3 障がい理解推進校として、地域の支援教育に関する中心的役割を担う場となる
 - (1) LSによる地域の障がい理解・教育力の向上
 - (2) 支援教育に関する情報発信
 - (3) 児童生徒の交流及び共同学習の推進（居住地校交流・福井地区地域交流）
 - (4) 学生ボランティアや社会人人材等の活用と開かれた学校づくりのための体制整備
- 4 個々のニーズと障がい特性に応じた社会的自立に向けて、小中高と一本筋の通ったキャリア教育の場となる
 - (1) 個別の教育支援計画、指導計画の拡充
 - (2) シラバス（新学習指導要領）整備と運用
 - (3) 小中高の連携がみえる形でのキャリア教育プログラムの検討
 - (4) 希望する進路先を選択できる力の育成と定着率の向上<高>
 - (5) 職業基礎コースの整理と拡充<高>
 - (6) 児童生徒間交流の推進及び余暇活動の充実
- 5 教育公務員としての高い倫理観と障がい特性に合わせた柔軟な指導力とチーム力を養う場となる
 - (1) 人権を大切にされた指導・支援の推進
 - (2) 実践的な支援力の向上 - 主体的に学ぶ教職員集団づくり
 - (3) 学校運営組織・分掌・学部間の連携の推進
 - (4) 業務改善を通じた職場環境整備：働き方改革の推進

【学校教育自己診断の結果と分析・学校運営協議会からの意見】

学校教育自己診断の結果と分析 [令和2年 月実施分]	学校運営協議会からの意見

3 本年度の取組み内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組み計画・内容	評価指標	自己評価
<p>1 安全安心な環境の中で、子どもたちがよりよく生きる意欲（自己肯定感）を育む場となる</p>	<p>(1)子どもたちの人権を守る学校組織の強化</p>	<p>(ア) いじめや虐待、ネグレクト事案対応のため、児童生徒支援に係る分掌が連携できる学校体制の構築と情報集約化の実現。 【学校いじめ防止対策委員会】 【人権教育会議】 【児童生徒部】【進路支援部】【LS】</p>	<p>(ア)分掌組織を中心に情報の一元化とスムーズな情報共有と対応ができる組織づくりができたか。</p>	
	<p>(2)LS(校内CO.としての役割)の経験知とネットワーク力を活かした校内支援体制の充実</p>	<p>(ア)LS(校内CO.としての役割)や校内人材を中心とした校内支援の充実に図り、積極的に校内支援ケース会議(特に家庭支援や福祉的側面に関連した支援)を行い、的確な支援方法や体制づくりに関するアドバイスを行う。 【LS(校内CO.としての役割)】</p>	<p>(ア)LS(校内CO.としての役割)を中心としたケース会議が各学部でタイムリーに開かれ、支援の充実に寄与することができたか。 (学期平均2回以上)</p>	
	<p>(3)高い人権意識を基礎にした自他を認め合う人間関係の構築</p>	<p>(ア)健康教育や性に関する指導、ネットモラルやSNS利用について教育課程への位置づけや指導や支援を整理し3年間で系統立てた支援指導ができるシラバスの整備。 【児童生徒部】【教務部】<高>【研究部】</p> <p>(イ)主体的に人権を考える取組みについて、目的やねらいを改めて整理し、教育課程の位置づけへの検討や「私の言いたいこと」など子どもが主体となった取組みを充実させる。 【児童生徒部】【教務部】【研究部】</p>	<p>(ア)関係する教科のシラバスの整備に着手し、学部内で共通理解を図りつつ、作成できたか。</p> <p>(イ)各学部の教育課程上に位置づけ、令和3年度のシラバスに盛り込むことができたか。</p>	
	<p>(4)自立活動領域及びICTを活用した教育支援力の向上</p>	<p>(ア)肢体不自由児童生徒に関わる姿勢管理や車いす等の支援機器や装具、自助具等についての正しい知識・理解・最新の知見を現場での指導支援に活用できる取組みを進める。 【自立活動支援部】</p> <p>(イ)知的障がい児童生徒に関わる自閉症スペクトラム障がいや発達障がい、行動障がい等についての正しい知識・理解・最新の知見を現場での指導支援に活用できる取組みを進める。 【自立活動支援部】</p> <p>(ウ)発達検査についての理解や活用能力を高め、実際の指導に活用するための取組みを始める。 【自立活動支援部】</p>	<p>(ア)夏季または冬季休業中に校内研修を実施できたか。(各1回ずつ以上)</p> <p>(イ)夏季または冬季休業中に校内研修を実施できたか。(各1回ずつ以上)</p> <p>(ウ)発達検査を実際の指導に活用するための取組みを始めることができたか。 (発達検査結果に基づいたケース会議を各学部で計3回以上)</p>	
	<p>(5)教材の計画的な購入とスムーズな納入のためのシステムの構築</p>	<p>(ア)電子黒板・タブレット端末や視線入力装置、音声入力アプリ等のICT機器やアプリの積極的活用推進のための校内研修や福祉機器展を実施する。 【情報部】【自立活動支援部】</p> <p>(ア)教材購入について、事務室との連携を緊密に行う。予算案作成から執行までの流れがスムーズになるように整理する。 【総務部】【事務室】</p>	<p>(エ)夏季または冬季休業中にICT機器やアプリ活用の校内研修を実施できたか。(各1回ずつ以上)</p> <p>(ア)円滑な教材購入のためのシステム改善・フローシートを作成し、試行的実施につなげることができたか。</p>	

2 保護者が安心して子どもを育てられるよう	(1)安全で安心な医療的ケア・救急搬送を伴うような体調急変時等の緊急時対応・食物アレルギー対応の実施体制とマニュアル整備・順守	(ア) <医ケア> 医療的ケアを必要とする児童生徒の学習環境整備を推進し、人工呼吸器を使用する子どもに合わせた個々の自己実現についての検討を進める。 【校内医療的ケア安全委員会】 【医療的ケア連絡会議】 【高度医療に関する検討会議】 <緊急時対応> 主に外傷・心肺蘇生・食アレのケースにおける緊急時対応研修やヒヤリハット事例の分析を通じ、対応マニュアルの見直し整備を進め、危機対応力を向上する。 【健康安全部】 <食アレ対応> 学校管理指導表に基づいた、食に関する支援を保護者と共に進め、マニュアルに即した対応を順守する。 【健康安全部】【学校アレルギー対応委員会】	(ア) 安心安全のための校内マニュアル定着・拡充の取組みができたか。 人工呼吸器を必要とする子どもに合わせた個々の自己実現についての検討と実施をおこなうことができたか。 <マニュアルを順守した上での評価として> 医ケアに関する事故 0 件 緊急時対応ミス 0 件 食アレに関する事故 0 件	
	(2)校内体制の実情に合わせた訪問教育体制とマニュアル整備・充実	(ア) 訪問教育の実施体制整備とルール作りを行う。 【訪問連絡会議】 (イ) 遠隔授業を実施しコミュニケーションの促進を図る。 【訪問連絡会議】【情報部】	(ア) 訪問教育に関する各種マニュアル整理・修正を行うことができたか (イ) 学校と訪問先をリアルタイムでつなぎ授業を一緒に行うことができたか。 (各学期 3 回以上)	
	(3)個人情報の適切な管理とシステム整理	(ア) 個人情報管理に関する統括部門を創設し、校内のシステム整理と現状の個人情報に関する取り決めの整理を行う。 【情報部】【個人情報保護検討会議（新設）】	(ア) 個人情報管理委員会を 4 月に創設し各マニュアル整備と整理に着手できたか。 <マニュアルを順守した上での評価として> 個人情報に関する事案 0 件	
	(4)教職員・PTA・地域と共同した防災（減災）・防犯体制の拡充	(ア) PTA と共に実際の災害を想定した訓練や学習会の計画立案と試行的実施を進める。 【健康安全部】【防災対策会議】【PTA】 (イ) 地域の避難所になった場合の体制整備（災害備蓄品拡充・整理含）やその後のBCP（事業継続計画）や緊急時の初動計画の見直しを進める。 【健康安全部】【防災対策会議】 (ウ) 各学校行事に合わせた地震発生時の体制整備や防犯（不審者）対応、登下校時の安全安心を守る実効性のある対応の推進と継続を行う。 【児童生徒部】【行事部】【通学部】 【防災対策会議】	(ア) 実際の災害を想定した学習会や避難訓練が実施できたか。（学習会と共同的な訓練を各 1 回以上） (イ) 体制整備をすすめると共に、校内周知を進め、マニュアル拡充ができたか。 (ウ) マニュアルに即した行事毎の危機対応確認や登下校時の安全安心につながる具体的なプリントの作成ができたか。	
	(5)学校 HP の活用による本校の教育活動等の積極的な発信	(ア) 普段の教育活動の発信と共に校内研修や学校運営協議会等の情報を HP やブログで積極的に発信する。 【情報部（取組の全校周知・定着を担う）】 (イ) ホームページの定期的且つタイムリーな更新や情報の整理作業を行う。 【情報部】	(ア) 学校教育自己診断アンケートによる当該評価指標の向上。 (H29:83.1% H30:78.4% R1:71.1%) (イ) ホームページの構成の見直しや更新状況の確認を定期的に（月 1 回程度）できたか。	

<p>3 障がい理解推進校として、地域の支援教育に関する中心的役割を担う場となる。</p>	<p>(1) LS による地域の障がい理解・教育力の向上</p>	<p>(ア) LS や校内人材による地域の学校への支援の充実、各関係機関との連携による地域の支援教育体制の充実。 【LS】</p>	<p>(ア) LS の活動理解の推進と他の教員の専門性を地域支援に活用できたか。 (30 件以上)</p>	
	<p>(2) 支援教育に関する情報発信</p>	<p>(ア) ホームページを積極的に活用し、本校の強みである支援教育に関する取組み（研究紀要含）を発信する。 【自立活動部（広報担当として）LS】【研究部】</p>	<p>(ア) 本校の取組みを支援教育だよりとして各学期に 1 回以上発信できたか。 研究紀要の HP への掲載ができたか</p>	
	<p>(3) 児童生徒の交流及び共同学習の推進（居住地校交流・福井地区地域交流）</p>	<p>(ア) 交流校と児童生徒の実態に基づいた課題設定や相互理解が進む活動内容について検討をおこない実践する。 【児童生徒部】</p> <p>(イ) 福井地区の交流行事の深化・精選の取組みを進める。 【児童生徒部】</p>	<p>(ア) 単なる交流ではなく「共同学習」への取組みに繋がる方向性を検討し、全ての学校間交流校と相談することができたか。</p> <p>(イ) 地域コミュニティのコーディネータと連携を深め交流行事について深化させられるよう検討し、試行的な取組みを 1 回以上行うことができたか。</p>	
	<p>(4) 学生ボランティアや社会人人材等の活用と開かれた学校づくりのための体制整備</p>	<p>(ア) 開かれた学校づくりの一環として、ひまわりフェスタでボランティアの積極的活用を進める。 【行事部】【PTA】</p> <p>(イ) 現在活用している分野に加え、新たな社会人人材の活用分野として図書室への導入を検討する。 【児童生徒部】</p> <p>(ウ) 学校行事を通した「開かれた学校づくり」を推進していくにあたり「安心安全が保障された開かれた学校」についての考え方と具体的な校内体制を検討・整理し、具体的な進め方を導き出す。 【行事部】【児童生徒部】 【個人情報保護検討会議】</p>	<p>(ア) ひまわりフェスタでのボランティア人数の昨年度比増加（R1：14 人）</p> <p>(イ) 現状のボランティア（滋慶学園舎）の継続や拡充（特に図書分野へのボランティアの導入）ができたか。</p> <p>(ウ) 「開かれた学校」に関する具体的な取組みや進め方についての方針（体育大会、ひまわりフェスタ、銀杏祭、作品展）を整理、文章化し、次年度へつなげることができたか。</p>	

<p>4 個々のニーズと障がい特性に応じた社会的自立に向けて、小中高と一本筋の通ったキャリア教育の場となる</p>	<p>(1) 個別の教育支援計画、指導計画の拡充</p> <p>(2) シラバス(新学習指導要領)整備と運用</p> <p>(3) 小中高の連携が見える形でのキャリア教育プログラムの検討</p> <p>(4) 希望する進路先を選択できる力の育成と定着率の向上<高></p> <p>(5) 職業基礎コースの整理と充実<高></p> <p>(6) 児童生徒間交流の推進及び余暇活動の充実</p>	<p>(ア) 個々の実態に応じた教育支援計画・指導計画の立案や評価を進める中で良い計画や実践の集約化を行い、作成の合理化を図る。 【教務部】【全校教育課程改善会議】</p> <p>(ア) 高等部においてシラバス作成の準備と着手を進める。 【研究部】【教務部】</p> <p>(ア) 小・中・高の連携を充実させるキャリア教育プログラムの検討をはじめめる。 【進路支援部】【教務部】</p> <p>(イ) 各行事のプログラム内容を検討・精査することを通じ、小中高の連携やそれぞれの成長が見えるような取組みについての検討やねらいの策定を進める。 【行事部】</p> <p>(ア) 希望する進路先を主体的に選ぶ力の育成をめざした校内実習の充実。 【進路支援部】</p> <p>(イ) 明確なキャリア目標を持つことで、成果が見える現場実習の実施。 【進路支援部】</p> <p>(ウ) 卒業後のアフターフォロー体制の整備と実施。 【進路支援部】</p> <p>(ア) 職業基礎コースの指導実践を深める取組みを進める。 【進路支援部】【教科会(情報)】【教務部】 【研究部】</p> <p>(イ) 職業基礎コースへの人的資源の充実に合わせた形での教育課程上の調整を進める。 【進路支援部】【教務部】</p> <p>(ア) ボッチャ・サッカー・バスケット・卓球等のスポーツ大会に出場し、余暇活動の充実を図る。 【教科会(体育科)】</p>	<p>(ア) 個別の教育支援計画、指導計画 作成手順ガイドを随時見直し、実践事例集(10月初旬まで<前期末>)の作成ができたか。</p> <p>(ア) 教育課程改善会議と連携しながら、シラバス作成を進めることができたか(年度末まで)。</p> <p>(ア) 小中高の連携が見える形でのキャリア教育プログラムの検討をし、次年度に向けて実施計画を立案することができたか。</p> <p>(イ) 次年度以降の実施につなげられるような考え方とねらい、取組計画を策定することができたか。</p> <p>(ア) 校内実習における生徒の自己評価肯定率80%以上。</p> <p>(イ) 事業所との連携を密に行い、本人・保護者・事業所・学校がお互いに目標を共有し、現場実習に取り組むことができたか。(アンケート調査での評価を予定<新規>)</p> <p>(ウ) 定期的にアフターフォローのための取組みを実施することができたか。</p> <p>(ア) ICT 機器を活用した授業実践の検討とシラバスへの掲載ができたか。</p> <p>(イ) 1年生2学期または後期からの職業基礎コースを設置するための準備ができたか。(令和3年度新入生より)</p> <p>(ア) 校外スポーツ大会に積極的に参加することができたか。</p>	
---	---	--	--	--

<p>5 教育公務員としての高い倫理観と障がい特性に合わせた柔軟な指導力とチーム力を養う場となる</p>	<p>(1)人権を大切に した指導・支援の推 進</p> <p>(2)実践的な支援 力の向上 - 主体的 に学ぶ教職員集団 づくり</p> <p>(3)学校運営組 織・分掌・学部間の 連携の推進</p> <p>(4)業務改善を通 じた職場環境整 備:働き方改革の推 進</p>	<p>(ア)教職員の服務遵守・人権に配慮した支援 の重要性を随時周知すると共に管理職・首席・ 部主事が職場でのロールモデルとなる。 【管理職・首席・部主事】 (イ)本校における人権教育ガイドライン・人 権を大切にしたい学校づくりの検討を進める。 【人権教育会議】</p> <p>(ウ)体罰やその他の人権侵害事象が決して起 きないように、体罰根絶の日の呼びかけや人権意 識向上研修等の取組みを継続的に行い、教職員 の人権意識の向上につとめる。 【人権教育会議】</p> <p>(ア)研究授業を中心にした授業づくり研修を 行う。 【研究部】</p> <p>(ア)企画会議(校長・教頭・部主事・首席・ 教務部長・指導教諭・事務長)や運営会議(各 分掌長)を活用し、それぞれの取組みや課題に ついて全員が共通理解を責任を持って学校運営 を進める。 【全分掌・委員会・会議・首席・部主事】</p> <p>(ア)会議(定時開始・終了)のルールや情報 共有方法を提案することで、業務効率化と時短 に取り組む。 【労働安全衛生委員会】【教務部長・教務総括】</p> <p>(イ)働きやすい快適な職場環境を明確にし、 取組みを進める。 【労働安全衛生委員会】</p>	<p>(ア)服務違反件数0件</p> <p>(イ)人権を大切にしたい指 導のあり方や職場環境につ いての検討を進める。 (H29:98.0% H30:97.9 R1 :98.6%)</p> <p>(ウ)体罰、その他の人権 侵害事象0件。</p> <p>(ア)教育センターパッケ ージ研修を活用し、全校的 な取組みを年間通して進め ることができたか。</p> <p>(ア)毎月の運営会議を中 心に学校経営計画に関する 取組みの進捗状況やそれぞ れの分掌や委員会の課題共 有を行うことができたか。</p> <p>(ア)10月ごろ(前期末) を目途に会議ルールの設定 や情報共有方法を見直し、 業務の効率化を図ることが できたか。</p> <p>(イ)職場環境改善のため のアンケート調査を実施、 具体的な改善プランを提案 することができたか。</p>	
--	--	--	---	--